

令和2年 9 月 2 4 日

議会議長 馬 場 司 殿

総務建設常任委員会

委員長 佐 藤 り え

総務建設常任委員会所管事務調査箇所の事業評価結果報告

本委員会において、令和元年度事業の決算審査の補完的位置付けとして、総務建設常任委員会が所管する事業について調査し、事業評価を行いましたので、その結果について報告します。

1 審査の経過

委員会の開会の日時及び出席委員

ア 日 時 令和2年8月7日（金） 午前9時

イ 出席委員

委員長	佐藤 りえ	副委員長	玉 利 優
委員	阿部 隆之	委員	鈴木 信一
委員	木下 眞樹子	委員	井出 一己
委員	馬場 司	委員	小島 総一郎

2 調査事業及び事業評価方法

総務建設常任委員会が所管する令和元年度当初予算の審査に当たり、現地調査を実施した事業及び令和元年度補正予算に係る事業について、事業評価を実施した。

3 事業評価結果

(1) 防災資機材整備事業費について【危機管理室】

おおむね良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

有効な活用ができるよう、資機材の保管場所について、分散による保管方法等を検討すること。

(2) 高峰浄水場次亜塩素注入設備更新工事について【水道事業所】

良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

設備を管理するためのスチール製カバーは当初より取り付けられているが、セキュリティの面でも鍵を取り付けて管理することが望ましい。

(3) 鮎の里の塔塗裝修繕について【商工観光課】

おおむね良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

設置している場所は、人目に付きにくくPR効果が低いと思われることから、鮎の解禁時にライトアップする、または、移設するなど、町の観光をPRするための効果を再検討すること。

(4) 八菅山いこいの森トイレ改修工事について【都市施設課】

おおむね良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

多くの方がいつでも安心、安全、そして快適に利用できるよう、利用者に配慮した観光トイレとして維持管理を心掛けること。

(5) 次亜塩素酸ソーダ貯留槽交換工事及び基礎工事について 【環境課】

おおむね良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

基礎となるコンクリートのクラックが目視できる状況であり、特に1階のスラブは改善していく必要があると考えられることから、早期に調査を行い、補修等を検討すること。

(6) 中津 3714 号線（舗装）工事について 【道路課】

改善を求める。

【委員からの意見】

アスファルトの捲れや民間の駐車場との境に段差となるブロックが設置されている状況をみると、車と歩行者等がすれ違う時などにおいて、事故の原因となりかねない。

また、工事完了から一年が経過していないにもかかわらず、交通荷重の影響による舗装のわだち掘れや剥がれが見られることから、再度、補修等を検討し必要な措置を講じること。

なお、これらの原因及び課題を把握し、今後の舗装工事においては、完成後の適切な維持管理に努めること。

(7) 一ツ井・箕輪上原 108 号線（歩道改修）工事について 【道路課】

良好かつ適正に執行されている。

【委員からの意見】

点字ブロックの設置が必要な場所においては、視覚障がい者の安全かつ快適な移動の支援ができるよう配慮すること。